

## 令和7年度 社会福祉法人こなんSSN 事業計画書

### I 事業方針

今年度「第6期ライフサポートプラン～活き活きプラン～」が4年目入り、新たな組織体制で法人運営にあたるため、各事業の運営が滞ることなくスムーズに進めるとともに、法人の将来を担う職員を育成や、持続可能な組織・事業体系を構築していく。

利用者の力を発揮できる「こなんSSNモデル」の検討や、「輝」の施設整備の申請を継続し、各施設が活動しやすい環境づくりを実施していく。

昨年度、障害福祉サービス等報酬が改定され、事業体系によって運営費などへの影響が出た。さらに民間事業者の障害福祉サービスへの参入が多くみられるようになり、利用者がより高い工賃を求め選択される傾向も強く、これまでのような安定した事業運営が厳しい状況になりつつある。設立当初より生活そのものへの支援を重視してきた当法人が担うべきサービスとはなにか、社会福祉法人に求められる社会的役割とはなにかなど地域の現状も踏まえ考えていく。また支援関係機関や各団体とも連携し、行政機関へは要望、改善などの声を上げていく。

### II 事業内容

#### ①指定障害福祉サービス事業所の運営

- ・グループホーム運営 「Dear House」
- ・就労継続支援B型運営 「シエスタ」「こなんSSN」「凧日和」
- ・相談支援事業運営 「大地」「零」
- ・自立生活援助事業運営 「流星」
- ・生活介護事業運営 「輝」

#### ②法人事業

- ・12月：シクラメン販売（メンバーボーナス）
- ・地域交流事業（共催：サポーターの会）
- ・たより作成（年3回）・配布（各関係機関、地元自治会等）、ホームページ管理
- ・精神保健福祉に関する研修
- ・職員・メンバー研修（学習会・見学研修・セルフヘルプ・虐待防止・BCP訓練）
- ・「輝」の施設整備
- ・シエスタの改修内容について検討
- ・地域の保健所・医療・福祉が連携したアプローチや支援の在り方を検討
- ・こなんSSN駐車場用地を検討

#### ③県の精神保健福祉充実のための新たな社会資源作りに向けた事業

- ・「こなんSSNモデル」の検討
- ・セルフヘルプグループのサポートとピアサポーターの育成

#### ④その他

## 令和7年度 相談支援事業所 大地 事業計画書

職員 2名

### 活動目標

湖南圏域在住のシエスタ・こなんSSN・輝登録利用者を中心にサービス等利用計画の作成をすすめていく  
あわせて、相談員の育成、スキルアップをはかり、事業が円滑に遂行できるよう努めていく。

### 活動内容

- ・日常生活全般にわたる相談
- ・地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供
- ・サービス等利用計画の作成及び評価
- ・訪問等による継続的なモニタリング
- ・前各号に付帯するその他必要な援助

### サービス種別

指定特定相談支援事業 (平成26年11月1日指定)

### 所在地

草津市集町160-3

## 令和7年度 相談支援事業所 雪 事業計画書

職員 2名

### 活動目標

東近江市近辺在住の児童と新規利用者を中心に、サービス等利用計画の作成をすすめていく。  
相談支援体制を再構築する

### 活動内容

- ・日常生活全般にわたる相談
- ・地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供
- ・サービス等利用計画の作成及び評価
- ・訪問等による継続的なモニタリング
- ・前各号に付帯するその他必要な援助

### サービス種別

指定特定相談支援事業 (令和3年4月1日指定)

### 所在地

東近江市建部日吉町644-1

## 令和7年度 グループホーム Dear House 事業計画書

定員12名 職員10名

### 活動目標

グループホームでの生活を望む精神障害者に対し日常の援助等を行い、精神障害者が地域社会において自立した自由な生活が送れるようにすることを目標とする。

### 活動内容

#### ①管理・運営

- ・グループホームの管理・運営を行う。
- ・緊急時対応を含む支援体制の強化
- ・地域連携推進会議の開催（年1回）

#### ②相談・援助

- ・グループホーム利用者それぞれの必要に応じて自立生活に向けた援助相談をする。  
　日常生活の相談援助（食事・服薬・金銭管理・健康管理・掃除・洗濯・余暇利用等）  
　社会生活の相談援助（対人関係・社会資源の利用等）

### 居住施設

<草津市>

- ・DearHouse 定員6名 (男性)
- ・和（なごみ） 定員2名
- ・ビレッジハウス 定員1名

<東近江市>

- ・陽だまり 定員3名

## 令和7年度 自立生活援助事業所 流星 事業計画書

職員 2名

### 活動目標

利用者が地域において自立した日常生活を営むことができるよう。居宅への定期的な訪問を行い、生活状況の確認と必要な情報提供を行う。また各支援機関との連絡調整を行う。

### 活動内容

- ・居宅訪問による生活状況の確認
- ・日常生活全般にわたる相談
- ・地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供
- ・自立生活援助計画の作成及び評価
- ・訪問等による継続的なモニタリング

### サービス種別

自立生活援助事業 (平成30年12月1日指定)

### 所在地

草津市集町160-3

# 令和7年度 就労継続支援B型 シエスタ 事業計画書

定員20名

職員7名

## 活動目標

精神障害者を対象として、

- ①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせるサロン的な場としての機能をあわせもち、広く社会参加を目指す。
- ②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。
- ③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。

支援の質の向上のため、職員それが他機関で開催される研修会（勉強会）等に関心をもち、意欲的に参加していくことで、学びや視野を広げる事に努める。  
以上を目標とする。

## 活動内容

### ①作業

#### ◆下請け作業

- ・部品組み立て・リサイクル品の整理などの軽作業、畑作業  
　メンバーが主体となり遂行できるよう、それぞれの手順や内容を整理する

#### ◆喫茶店「茶処ひびき」経営

- ・喫茶店業務に興味関心を持ち、携われるメンバーが増えるような経営内容をみんなで検討する
- ・提供メニューも手順、業務分担など再考する
- ・洋菓子の製造及び販売
- ・イベント開催（秋祭り協賛）

### ②サロン活動

それぞれの活動の目的を再確認するとともにメンバーの希望や目標達成に活かせるよう、意識調査を実施。その結果をもとに内容や頻度を設定する

- ・月1回：レク＆食事会・昼食会・食堂・スポーツ
- ・年1回：日帰り旅行・小グループ活動 メンバー研修
- ・随時：散歩・図書館利用・ゲーム等メンバーそれにあった活動

### ③自主活動

- ・メンバーの関心事、生活や健康維持に役立つよう勉強会（1～2回／年）を実施する
- ・クラブ活動（手芸部）

### ④生活支援

- ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援

### ⑤就労支援

- ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援

### ⑥啓発活動・ネットワークづくり

- ・家族交流会（年2回）
- ・こなんSSNだより発行（年3回）
- ・秋祭り等のイベント参加

### ⑦障害者雇用

- ・SSNモデルの検討会に継続参加

### ⑧その他

- ・シエスタ20周年の記念事業の検討、開催
- ・老朽化した設備（ひびきのIHクッキング・エレベーターの部品交換等）の修繕（購入）

# 令和7年度 生活介護事業所 輝 事業計画書

定員20名 残員5名

## 活動目標

精神障害者を対象として、

①日中活動を通じ日常生活機能維持や向上を目指す。生き甲斐を見いだすため生産活動・

レクリエーション等の提供をする。

②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。

③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。

以上を目標とする。

## 活動内容

### ①作業

- ・ポスティングの下請け
- ・採尿キット袋詰めの下請け

### ②プログラム

- ・食事作り（当番制で調理・盛付・配膳等）
- ・個々のニーズにあった過ごし方を午後の活動の時間に行う。（脳トレ・足浴・散歩・キャッチボール等）
- ・楽しみ作りのレクレーション（ゲーム・体操・なごみの郷）
- ・体力づくり

### ③サロン活動

- ・偶数月1回：レク＆食事会
- ・奇数月1回：
  - ・昼食会（家庭料理やおやつ等）
    - ・施設内での食事（テイクアウト）創作活動（簡単な作品作り）
- ・年1回：バス旅行・メンバー研修
- ・隨時：ドライブ・散歩・図書館利用・手芸・絵画等メンバーそれぞれにあった活動

### ④自主活動

- ・小グループ活動
- ・ヨガ
- ・毎朝のラジオ体操
- ・昼の口腔体操
- ・健康維持のための勉強会

### ⑤生活支援

- ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
- ・身だしなみについての支援
- ・健康や病状管理等の相談・支援

### ⑥啓発活動・ネットワークづくり

- ・家族交流会（年2回）
- ・こなんSSNだより発行（年3回）
- ・イベント参加

### ⑦その他

- ・施設整備の申請・検討・準備

# 令和7年度 就労継続支援B型 こなんSSN 事業計画書

定員20名

職員8名

## 活動目標

精神障害者を対象として、

①就労を中心とした社会復帰の関わりと、余暇の楽しみを見つけられる関わりを通して、生活の幅を広げ社会参加を進めていく。

②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。

③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。

以上を目標とする。

## 活動内容

### ①作業

- ・清掃作業や古紙回収など出向を中心としたグループ就労
- ・軽作業（班長制度）
- ・自主製品（菓子処「集」）の販売先確保と拡大
- ・ベジ部：作った作物を販売

### ②サロン活動

- ・年11回：レク&食事会
- ・年9回：昼食会（11月、3月、バス旅行月は除く）
- ・年1回：バス旅行（日帰り旅行）
- ・随時：無料・・・ドライブ、図書館利用、ゲーム等  
有料・・・買い物、カラオケ、昼食
- ・年1回：施設外研修
- ・スポーツ（不定期）
- ・ウォーキング（月、水、金）

### ③自生活動

- ・クラブ活動（料理、創作、ネイル教室等）の設立と活動によるメンバー間の交流を図る。
- ・小グループ活動等自生活動の活性化、レク内容の幅を広げる働きかけを行う。
- ・他の作業所の活動を知る取り組み

### ④生活支援

- ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
- ・メンバー対象の勉強会開催（年10回）

### ⑤就労支援

- ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援

### ⑥障害者雇用

- ・就労を希望する障害を有する方に就労の場の提供を行う。  
(週10時間、直接支援業務を除く施設内外の環境整備、事務、送迎業務など)

### ⑦啓発活動・ネットワークづくり

- ・家族交流会（年2回）
- ・こなんSSNだより発行（年3回）
- ・地域イベント等への参加

# 令和7年度 就労継続支援B型 凧日和 事業計画書

定員20名 職員7名

## 活動目標

- 精神障害者を対象として、  
①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせるサロン的な場としての機能を  
あわせもち、広く社会参加を目指す  
②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援や活動を行う  
③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する  
以上を目標とする

支援の基本の確認や質の向上のため、研修会への参加などを推奨し、人材育成をはかる  
他の施設や事業所等について見聞きし知る機会を作り、持てる情報や知識の更新に努め支援に活かす

## 活動内容

### ①作業

- ・部品組み立てやパソコン入力等の軽作業（主軸となる作業・事業所探しの継続）
- ・グループ就労（大学清掃・洗口液配達）
- ・Cafeまめいる：来店客開拓、外部依頼の出店、また広報の強化を図る
- ・自分の特技を活かせる仕事（書き物やイラスト、パソコンなど）の授産化、自主製品等への活用を試みる

### ②サロン活動

- ・活動に関する利用者希望調査を行い、その結果に基づき利用者さんの希望を取り入れた内容で実施する
- ・レク＆食事会…隔月1回：実行委員制を継続、利用者の希望を取り入れ企画、実施に参画してもらう
- ・健康レク…月1回：楽しみながら負担感なく健康のため取り組める内容を工夫し、参加者増を目指す
- ・昼食会…不定期：年3回程度、調理や手作りの温かい食事を楽しむことを目的に実施
- ・日帰り旅行…年1回：利用者の希望で行き先と時期を検討
- ・散歩、絵画、手芸、書道などメンバーそれぞれにあった活動（隨時）

### ③自主活動

- ・小グループ活動の積極的利用に繋がるよう、働きかけや実行に向けたサポートをする
- ・サークル活動（手芸など）→利用者の希望に基づきグランドゴルフのサークル化をサポートする
- ・希望する利用者が自主的に、午前と午後の作業前にラジオ体操などを行えるよう、引き続き協力する
- ・凧の会（OB含む集まり）：月2回開催／火曜日と土曜日

### ④生活支援

- ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
- ・健康レクの中で、健康に生活を営む上で大切なこと（食生活・適度な運動・介護予防など）を学ぶ  
機会をつくる

### ⑤就労支援

- ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用し、他機関と連携して、一般就労とその継続に向け支援する
- ・凧の会のサポート

### ⑥障害者雇用

- ・就労を希望する障害を有する方に就労の場を提供し、継続して働いてもらえる職場環境であるよう努める

### ⑦啓発活動・ネットワークづくり

- ・家族交流会（年2回）
- ・こなんSSNだより発行（年3回）
- ・福祉団体赤い羽根地域活動事業助成金等を活用した「わくわくふれあいフェスタ」の開催